

日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会ニュース

発行所：日本産業衛生学会北陸甲信越地方会事務局 発行責任者：地方会長 野見山 哲生
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室 TEL：0263-37-2622 FAX：0263-37-3499



巻頭言

『新型コロナウイルス感染症のなか、産業保健活動を想う』

日本産業衛生学会富山県常任理事・富山大学学術研究部医学系公衆衛生学
稲寺秀邦



2019年12月中国の武漢で発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、瞬く間に世界的な感染拡大を引き起こし、2020年1月31日WHOは緊急事態宣言を発するに至りました。当初は欧米ほどの感染拡大が見られなかった日本でも急激に感染者数が増加し、2020年4月16日には新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令されました。2020年8月現在も、クラスター発生予防や医療崩壊を防ぎ、国民の安全と健康の確保のため、政府・自治体、保健医療従事者、全国民が団結し対策活動が継続しています。

このような状況下、日本渡航医学会と日本産業衛生学会は共同文書として、2020年5月11日「職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド（第1版）」を発行しました。職域の全面的な協力なくして、新型コロナの収束は困難であり、産業保健職の役割、職域における対策、事業継続体制、事業者の法的対策のポイント等について具体的にまとめられ、多くの産業保健職に活用されています。

われわれ大学教職員の日常も大きく様変わりしました。学生の講義は原則オンラインとなり、部活動も自粛を余儀なくされています。対面で行われていた会議の多くはwebを使って行われ、多くの全国学会は現地での開催をとりやめ、オンライン開催や誌上開催となりました。

歴史は繰り返します。今回の新型コロナウイルス感染症は、2009年の「新型インフルエンザ感染症」の世界的大流行を思い出させます。当時、新型インフルエンザと季節性インフルエンザをどの程度分けて考える必要があるかが議論になりました。新型コロナについても、様々な人がそれぞれの立場から意見を述べています。新型コロナ感染症は通常のカゼと何ら変わらずに対処すればよいという極論まであります。私が今回のパンデミックで驚くことは、発生から半年足らずの間にNew England Journal や Nature 等の一流誌にCOVID-19に関する論文が毎週数多く発表され続けていることです。2020年8月20日現在、PubMedでCOVID-19をキーワードに検索すると4万2千あまりの論文がヒットします。

今後「新しい生活様式」が広がりさらに継続すれば、労働衛生の新たな課題が顕在化し、産業保健活動にも新しい潮流がくるのかもしれませんが、まさに「パンデミックの後に新しい価値観が現れる」です。

第63回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会

富山県医師会長 馬瀬 大助 先生を大会長として富山県富山市で開催致します。

総会当日はシンポジウムを予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

学会総会

日時：2020年10月25日（日曜日） 9:30～15:00

会場：富山県総合福祉会館サンシップとやま

〒930-0094 富山県富山市安住町5番21号

シンポジウム「あらためて働き方改革を考える -健康課題の解決にむけて-」 13:00-15:00（午後の部）

- | | | |
|--------------------------------------|-------------|--------|
| (1)「労働時間やメンタルヘルス対策などの労働環境の状況と労働局の取組」 | 富山労働局 | 小永光 邦彦 |
| (2)「メンタルヘルスと働き方改革」 | 関西電力株式会社 | 小野島 尚子 |
| (3)「製造業における働き方改革 コマツの取組と現状」 | コマツ健康増進センター | 南 昌秀 |
| (4)「教員のメンタルヘルスと職場風土」 | 富山国際大学 | 大平 泰子 |

お知らせ

現時点では、サンシップとやま 福祉ホール（定員300名）にて、入場人数を制限した上で現地開催する予定です。今後、新型コロナウイルスの感染拡大状況により、誌上開催となる可能性もございます。「日本産業衛生学会北陸甲信越地方会」ホームページにて最新の情報をご確認いただきますようお願いいたします。9月25日（金）までに開催方法を最終的に決定する予定です。現地開催をする場合、参加人数を事前に把握する必要がありますので、参加希望の方は10月1日（木）までに「参加申込書」を事務局宛にお送りいただきますようお願いいたします。

※詳細は地方会ホームページをご覧ください。

※参加申込書は地方会ホームページ「行事案内」よりダウンロードしてください。

http://www.shinshuu.ac.jp/faculty/medicine/chair/pmph/sanei_chihoukai/info/63chihokai.html

問い合わせ先

第63回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会事務局

〒930-0194 富山県富山市杉谷2630

富山大学学術研究部医学系公衆衛生学講座

TEL：076(434)7276 FAX：076(434)5023

E-mail：yamashit@med.u-toyama.ac.jp

第63回日本産業衛生学会
北陸甲信越地方会総会
第63回学会長 馬瀬 大助 (富山県医師会会長)

2020年10月25日(日) 9:30-15:30 (予定)

会場：富山県総合福祉会館サンシップとやま (富山市安住町5番21号)
主催：日本産業衛生学会北陸甲信越地方会
共催：富山県医師会

午後の部

9:30～11:20 一般演題
11:30～12:00 総会

13:30～15:30 (予定)

シンポジウム「あらためて働き方改革を考える -健康課題の解決にむけて-」
座長 坂部 真 (日本産業衛生学会北陸甲信越地方会産業医学会幹事)
藤澤 貞志 (富山県産業医会会長)

1) 労働時間やメンタルヘルス対策などの労働環境の状況と労働局の取組
小永光 邦彦 (富山労働局)

2) メンタルヘルスと働き方改革
小野島 尚子 (関西電力株式会社)

3) 製造業における働き方改革 コマツの取組と現状
南 昌秀 (コマツ健康増進センター)

4) 教員のメンタルヘルスと職場風土
大平 泰子 (富山国際大学)

第63回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会事務局
〒930-0194 富山県富山市杉谷2630
富山大学学術研究部医学系 公衆衛生学講座内
TEL 076(434)7276 FAX 076(434)5023

地方会事業から

◇長野県における地方会事業

今年度も早いもので6か月が経過しました。長野県は、第62回北陸甲信越地方会総会の担当県でした。しかしながら、台風、新型コロナウイルスの感染拡大により、今年度事業となり、誌上開催とさせていただきます。その節は地方会会員の皆さまには大変お世話になりました。

本来であれば、長野県の地方会事業が、各部会より企画立案されて開催されているところです。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の折、従来型の集合形式による事業の開催は容易ではなく、今日に至っています。

一方で、いつまでも何もしていない訳には参りません。産業医部会の会員からは、産業医の認定単位につながるような研修会を待ち望む声も寄せられます。そこで重要なツールになるのがネットを駆使したオンラインによる企画であると考えます。私自身、この方面には明るくありませんが、この半年ほどの間にさまざまな学会におけるオンライン企画を耳にします。こうしたテクノロジーを活用した企画は、新しい生活様式ならぬ、新しい学会事業の在り方、であるかもしれません。今後、オンラインを活用した企画の検討も推進して参りたいと考えるこの頃です。

(文責 塚原 照臣)

◇富山県における地方会事業

富山県における地方会事業の特徴の一つは医部会と看護部会の連携です。医部会では富山県産業医会と連携し、「調査研究事業助成金交付」事業を行っていますが、看護部会の会員であってもこの制度を利用できる仕組みを作っていただいております。最近では、看護部会の長谷川直人保健師(品川グループ本社)が助成を受け、「働くがん患者の治療と仕事の両立支援における産業看護職から見た治療医・産業医との連携に関する調査」を実施し、令和元年8月の産業医会総会で成果を報告しました。

現場のデータをまとめて、その結果から産業看護職

としてのあり方を振り返るという行為は現任教育の基盤であり、本事業は産業看護職の資質向上に大変役に立っています。また、報告を通し、産業医の先生方に産業看護職のパッションやマインドを伝えることができます。報告後、看護部会の会員より「報告を聞いた産業医の先生から、“看護職の仕事の内容や思いが良くわかった”、“一緒に協力して頑張りましょう”等の言葉を頂いた。」「産業医の先生とのコミュニケーションが深まった。」等の喜びの声が聞かれ、本事業は産業医と産業看護職の絆を深める機会にもなっています。

(文責 看護部会 中林美奈子)

会員の取組み

NTT 東日本 健康管理センタ
南関東担当 山梨サテライト
保健師 角田 ひろみ



私が会長を務めさせていただいております山梨産業看護部会は、現在会員数10名という状況で、会員数増加に向けた活動が今後の課題のひとつとなっています。

加入促進と活動の拡大を目指した取り組みとして、2017年より会員以外の産業看護職も交えた交流会を年に1~2回開催しています。とはいえ、この交流会を開催するまでには、どこの事業所に産業看護職がいるのかわからない状況から人伝てに確認していき、やっと現在の20ほどの事業所の産業看護職の在籍を把握し、開催案内をお送りするに至った経緯があります。

交流会では、事業所の規模や産業看護職としての経験年数も様々なメンバーが集まり、検討希望として事前に連絡いただいた幾つかのテーマについて情報共有を行っています。これまで取り上げたテーマの一部をご紹介しますと、「ストレスチェックの高ストレス者面接の実施方法や集団分析結果の活用方法」「健康教育の実施内容と方法」「喫煙対策の推進方法」「産業医との連携や役割分担」等々…日々の産業看護活動を円滑に実践していく上で重要なテーマが並びます。メンバーの中にはひとり職場の方もおり、日々試行錯誤しながら活動している中で生じたモヤモヤし

た思いを、この交流会の場で相談し、他事業所の活動について聞くことで、「そのやり方があったのか！」
「うちでもその方法で提案してみよう！」と、すぐに実践につなげられそうなヒントや新たな視点が得られることも多いようです。また、ベテランの産業看護職の方も、自分自身の活動を伝え認められることで、更なるモチベーションの向上にもつながっている印象を受けます。

今後も、活動の中で生じた不安や疑問点を気軽に相談し合える場としてこの交流会を継続しつつ、産業保健総合支援センターや産業医の先生方との連携も図らせていただきながら、より専門性を向上できるような活動につなげていくことで、山梨産業看護部会を盛り上げていけたらと考えています。



「外資企業における産業保健活動」

ハウメット・ジャパン(株)
橋 由佳



ハウメット・ジャパン(株)は、米国企業の子会社として発電用ガスタービンの翼を製造しています。鋳物工場ですので、粉塵業務や暑熱・X線業務、深夜業務等の有害業務があります。工程では、有機溶剤、特定化学物質、RCF等を使用していますので、かなり厳しい作業環境といえます。従業員数は約320名で、社長と数名の従業員は外国籍ですが、それ以外はほとんど日本人です。通常のコミュニケーションは日本語で問題ないですが、親会社からのメールや電話会議などでは、英語が飛び交っているという状況です。

安全衛生活動については、日本の法令と同等の遵守を求められる親会社からのマニュアルがあり、それに従って活動を展開しています。保護マスク検診(防塵マスクを着用することで心肺機能を低下させる恐れがないかを評価)やフォークリフトやクレーンを操作する作業者ための検診など、外資系企業独特と思われる検診もあります。

健康教育についても、内容や実施頻度がマニュアルで定められていますので、最初は決められたことをこなすのが精一杯でした。そのような中、オリジナルティある活動がしたいと思い、独自に『健康習慣サポー

トプログラム』を提案しました。禁煙・運動・生活改善項目のいずれかを6ヶ月間継続できれば、『達成』として景品を進呈するという活動です。本プログラムは従業員に好評で、今年で10年目の取り組みとなります。

産業分野に転職し、早くも20年が過ぎました。途中、育児のために離職していたので業務経験は16年になります。1人職場ですので、新たな問題や難しいケースに直面すると対応に苦慮することも多いです。そのようなときは、産業医の先生方や近隣企業の看護職の皆様にご相談し、助けていただいています。これからも、対象者を適切にサポートできるよう、産業保健のネットワークを大切に、貪欲に学び続けていきたいと思っています。

新入会員紹介

日本精機株式会社
三五 成美



この度、日本産業衛生学会に入会させていただきました三五成美と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。私は、新潟青陵大学看護福祉心理学部看護学科を卒業後、市町村、健診機関での保健師経験を経て、現在は日本精機株式会社にて産業保健師としてお世話になっております。

同じ保健師ではありますが、産業保健師は社員にとっての身近な相談者から、社員と会社の両方の健康支援者ともなるため、そのバランスを保つ難しさを感じながらも、やりがいのある日々を過ごしております。

当社では、社員の健康管理の一環として、社員食堂のメニュー改善に取り組み、2019年『第8回健康寿命を延ばそう!アワード』において、『厚生労働省健康局長優良賞』を受賞いたしました。このことは、社員の健康づくりを行う上で、大きな励みとなっております。

今後は学会の活動を通して、産業保健師としての専門性を高め、社員の健康の保持・増進を支援するだけでなく、社員が幸せを感じながら働けるような活動をしていきたいと思っております。

ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

私たちの職場 『北陸電力（株）福井健康管理センター』

当社の産業保健活動

保健師 白崎 慶子

北陸電力は、1951年5月1日に国内の電気事業再編に伴い設立されました。

以降「低廉で良質なエネルギーを安定的にお届けする」「北陸地域の生活や産業に寄与する」ことを使命とし、北陸地域の皆さまの暮らしに欠かせない電気の供給事業を担ってきました。2020年4月1日、電気事業法改正により、発電・小売事業を担う「北陸電力（株）」と、送配電事業を担う「北陸電力送配電（株）」に分社化する大きな転機を迎えました。分社化されたものの、福井健康管理センター（当センターは独立した建物）は、産業医、保健師、看護師、技師、心理士、医療事務などのスタッフで、今まで同様県内従業員約950人の健康支援に努めています。当センターの取り組みの特徴は、全従業員を対象に

- ①健康診断を自社で実施
- ②健康診断時に、集合教育（食事指導、運動指導）を実施
- ③健康診断結果通知後に、職場に出向き個別事後面談を実施

以前の取り組みはハイリスクアプローチでしたが、「健診で『所見なし』でも本当に健康と言えるのか？さらに健康増進のために必要なことがあるのでは？」との視点から、健診内容を充実させるとともにポピュレーションアプローチにシフトして6年が経過しました。具体的には「健康活動宣言書」という個人ごとの健康目標を設定するツールを作成、活用し、健診から職場訪問、個別事後面談を通して従業員を積極的、継続的に支援してきました。この結果、従業員との距離も縮まり、相談しやすい環境も整い、メンタル疾患の早期発見予防にも繋がるようになりました。しかし、新型コロナの影響で、健診の延期や、これまでの健診のやり方の変更を余儀なくされました。

現在は、感染拡大防止を最優先とし、個別事後面談もメール等に変更し従業員と直接顔を合わせる機会が減少しましたが、これまで築いてきた信頼関係をもとに、今できる限りの支援を実施しています。今後はリモート対応など多様な状況に応じつつ、また、本来の体制に戻ったときに切れ目なく従業員の心身の健康を支援できるよう努力していきたくと考えます。



リレー形式で会員の皆様の紹介をつないでいきます！

大日本法令印刷株式会社 藤澤美和子先生のご紹介でスタート♪
「衛生管理者の先生を紹介したい・北陸甲信越地方会に来たばかりの先生をご紹介します！」



小島 利彦

所属： ヴィスト株式会社
職種／役職： 理学療法士，第一種衛生管理者
趣味： アウトドア、野球
ひとこと：VDT作業による諸症状や職業性腰痛の問題に対して理学療法士の専門性を活かして取り組んでいきます！

衛生技術部会の先生にご紹介いただきました！



曾山 善之

所属： 曾山歯科クリニック
職種／役職： 歯科医師，労働衛生コンサルタント／歯科医療専門学校教務部長
趣味： 野球・マラソン・野菜作り・旅行
ひとこと：産業歯科保健部会の幹事、口腔衛生学会地方会の幹事をしており、歯科医師会の産業保健の研修も実施しております。また学生への講義と臨床実習を通じて産業保健の教育・普及啓発に努めていきたいと想います。

元・矢田野ベースボールクラブ保護者会つながりからご紹介いたします



畑中 修敏

所属：株式会社 小松製作所
職種／役職：衛生管理者，健康運動指導士
趣味：金沢マラソン、釣り、果樹栽培
ひとこと：オリジナル健康体操の作成と普及や禁煙活動を積極的に行い、小規模事業所の支援に取り組んでいます。

会員 Relay ☆≡

次号へ

事務局から

理事会報告

○2019年度北陸甲信越地方会 理事会

下記の通り行われました。

日時：令和20年3月7日（土）13:00～14:00

会場：インターネット会議（Zoom）

○2020年度北陸甲信越地方会 常任理事会

下記の通り行われました。

日時：令和20年6月20日（土）13:00～14:00

会場：インターネット会議（Zoom）

○役員変更のお知らせ

▷山梨県常任理事・小林 正洋 先生

（若葉クリニック）

▷山梨県理事・高橋 英尚 先生

（山梨産業保健総合支援センター）

▷産業看護部会役員福井県代表・白崎 慶子 先生

（北陸電力株式会社福井健康管理センター）

▷地方会幹事・當房 浩一 先生

（信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室）

代議員選挙

○日本産業衛生学会役員、地方会長選挙のお知らせ

日本産業衛生学会の定款8, 25, 26条ならびに役員、代議員、地方会長の選任に関する細則に基づき、地方会長、本部代議員候補（30名）の選出を行います。本部理事候補選挙は、昨年度と同様に電子投票により選出いたします。

選挙日程は以下を予定しています。

ご投票よろしくお願致します。

<地方会長選挙と代議員候補選挙>

9月10日 投票用紙発送（届き次第、投票可能）

10月11日 投票締切り（当日消印有効）

10月24日 開票

10月25日 選挙結果報告（第63回地方会総会）

<本部理事候補選挙>

11月11日 電子投票開始

11月25日 投票締切り

12月8日 開票

今後の行事案内

○第63回北陸甲信越地方会学会総会

開催日：2020年10月24日（土）理事会

25日（日）学会・総会

大会長：富山県医師会長 馬瀬 大助 先生

会場：富山県総合福祉会館サンシップとやま

お知らせ

○会員情報にメールアドレスの登録をお願いします。

会員の皆様への様々なご連絡、地方会ニュースの配信、地方会役員選挙の電子化などメール送信を通じてご連絡が増えてまいります。アドレスをお持ちの方はご登録をお願い申し上げます。

<登録変更の方法>

(1) Webサイトから
日本産業衛生学会のトップページ より
<https://www.sanei.or.jp/>

会員ログイン 会員番号とパスワードでログイン
※初期パスワードは生年月日です。

プロフィール変更 左メニューよりプロフィール更
を選択し、入力画面にて変更する
情報

プロフィールを変更する ボタンを押して確定

(2) FAX送信または郵送

日本産業衛生学会のホームページより書式をダウンロード

<https://www.sanei.or.jp/>

入会案内 会員番号とパスワードでログイン
※初期パスワードは生年月日です。

入会申込書 書式ダウンロードページへ

登録内容変更届（退会届を含む） 書式ダウンロード

変更内容を記入し FAX送信 または 郵送

FAX 03-5362-3746

郵送 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 公衛ビル内

公益社団法人 日本産業衛生学会 宛

編集後記

この度、北陸甲信越地方会の地方会ニュース第7号を発行することができました。今号でも、各県の会員の皆様に各記事の執筆を賜り誠にありがとうございました。発行に際してご協力、ご尽力いただきました先生方へ改めて感謝申し上げます。

今後も地方会員の皆様の活発なご活動を広報し、地方会におけるさらなる産業保健の発展を皆様とともに担っていきたいと思います。ご意見やご感想を今後のために編集委員まで頂ければ幸いです。

編集委員（五十音順）

編集委員長：森河 裕子

副編集委員長：塚原 照臣

編集委員：池田 裕子、稲寺 秀邦、遠藤 和男、
小坂 智恵子、佐藤 一博、高山 英之、
角田 ひろみ、西澤 依小、松永 康弘

事務局：當房 浩一、水木 将

